

海底土中のPu分析結果

1. 測定結果：

(データ集約:11/16)
(単位：Bq/kg・乾土)

採取場所	採取日	Pu-238	Pu-239+240
福島第一 5,6号機放水口北側(T-1)	2016年10月3日	N.D. [8.9×10^{-3}]	$(8.4 \pm 0.93) \times 10^{-2}$
福島第一 南放水口付近(T-2-1) ³		N.D. [1.1×10^{-2}]	$(7.1 \pm 0.82) \times 10^{-2}$
福島第一及び福島第二付近の近海における過去の測定値の範囲 (平成11年度～平成20年度) ¹		-	$1.7 \times 10^{-1} \sim 5.6 \times 10^{-1}$
国内における過去の測定値の範囲(平成18年度～平成22年度) ²		N.D. $\sim 6 \times 10^{-2}$	-

[]内は検出限界値を示す

- 1：出典「平成21年度 原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書」
(福島県原子力発電所 安全確保技術連絡会)
- 2：出典「環境放射線データベース」(文部科学省)
- 3 台風10号の影響により、試料採取地点の安全が確保できないため、1～4号機放水口から南側に約330m地点(T-2)において試料を採取。

2. 分析機関：日本分析センター

3. 評価：

2016年10月3日に検出されたPu-239+240の濃度は、福島第一及び福島第二付近の近海における過去の測定値の範囲内であることから、今回の事故に由来するものとは判断できない。

以 上

海底土核種分析結果

(データ集約：11/16)

採取場所	福島第一 5,6号機放水口北側(T-1)	福島第一 南放水口付近(T-2-1) ¹
試料採取日	2016年9月5日	2016年9月28日
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/kg・乾土)	
Cs-134 (約2年)	48	45
Cs-137 (約30年)	260	240
Sr-90 (約29年)	ND(0.76)	ND(0.59)

福島第一及び福島第二付近の近海におけるSr-90の過去の測定値の範囲(平成11年度～平成20年度)：ND～0.17 Bq/kg・乾土
出典「平成21年度 原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書」(福島県原子力発電所 安全確保技術連絡会)

Cs-134, Cs-137については, 2016年11月9日公表。

NDは検出限界値未満を表し, ()内に検出限界値を示す。

Sr-90の分析は日本分析センターにて実施。

- 1 台風10号の影響により, 試料採取地点の安全が確保できないため,
1～4号機放水口から南側に約330m地点(T-2)において試料を採取。

(評価)

今回測定した試料からは, Sr-90は検出されなかった。